



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社アイドマーケティングコミュニケーション 上場取引所 東
 コード番号 9466 URL https://www.e-aidma.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 蛭谷 貴
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長 (氏名) 中川 強 TEL 076-439-7880
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 7,161 | — | 563 | — | 580 | — | 385 | — |
| 2019年3月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 360百万円 (ー%) 2019年3月期第3四半期 ー百万円 (ー%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 28.51 | — |
| 2019年3月期第3四半期 | — | — |

(注) 2019年3月期連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第3四半期の数値及び前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 6,156 | 3,864 | 62.7 |
| 2019年3月期 | 6,141 | 3,869 | 62.9 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,857百万円 2019年3月期 3,861百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 |
| 2020年3月期 | — | 9.00 | — | — | — |
| 2020年3月期 (予想) | — | — | — | 9.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|-------|------|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,800 | 14.0 | 1,050 | 11.6 | 1,050 | 4.0 | 720 | 10.5 | 53.25 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期3Q | 13,520,000株 | 2019年3月期 | 13,520,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期3Q | 91株 | 2019年3月期 | 91株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年3月期3Q | 13,519,909株 | 2019年3月期3Q | 13,519,937株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提となる条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 6 |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界経済の減速など海外経済の不確実性や企業収益の悪化等により、先行きは不透明なものとなっております。また、当社グループの主たるクライアントである流通小売業界では、業態を超えた競争の激化や人手不足の深刻化が進んでおります。

このような状況の中、当社グループが提供している既存サービスに関しては堅調に推移した一方、国内での紙代値上げや一部で販促調整等がありました。引き続きクライアントへの販売促進支援サービスの充実を推し進めるとともに、さらなる新規クライアントの開拓を一層進めることで、事業の成長に努めてまいります。

当社の事業環境は、ECを含めた異業種間の競争や、消費者行動のデジタル化など急速に変化していくことが見込まれます。このような環境下では、デジタル販促やマーケティング分析をはじめとする販売促進手法に対するニーズが高まっていることから、他社との業務提携、資本提携等を含めて積極的に事業開拓に努めていきたいと考えております。

上記方針のもと、2019年6月に、中国・アリババグループのパートナー企業であるZhejiang Sunparl Information Technology Co., Ltd.（以下、サンパール社という）と業務提携契約を締結し、2019年11月に、サンパール社と資本提携契約を締結いたしました。

当社グループでは、2019年7月31日開示の「新たな事業の開始に関するお知らせ」に記載のとおり、サンパール社と共同で、日本の流通小売業向けに独自仕様を含むシステムローカライズ、新機能開発を行い、電子棚札ソリューションを基軸とするオールストアプロモーションサービスを開始しております。

サンパール社と取引の提携をしていく中で、両社のさらなる成長、目指すビジョンについて検討を重ねてまいりました結果、2019年10月31日開示の「浙江勝百信息科技有限公司との資本提携に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループとサンパール社では、今後の日本での戦略的な協業関係、システム開発はもとより、世界視点でのユーザー行動のデジタル化、広告媒体の多様化、省人化（働き方改革）、ダイナミックプライシング化（フードロス対策、競合店対策）等に対応する流通小売業分野でのリテールテックソリューションを共同で開発・展開していくことに合意し、戦略的パートナーシップを結ぶため資本提携をすることにいたしました。

欧米やアジア諸国では、電子棚札は省人化を図りつつ、デジタルでの販売促進を行うためのツールとして急速に需要拡大しており、日本においても、コンビニエンスストアやスーパーマーケット等がかかえる少子高齢化の進展による人手不足、フードロス・廃棄ロス問題や消費者行動の変化に対応していくひとつの手段と考えております。

電子棚札ソリューションサービスについては、2019年7月以降、当初想定していた流通小売業をはじめ、その他業種からも多くの引き合いを頂いております。商談を進める中で、電子棚札やサイネージ等の効果を検証していくため、電子棚札等のサービスを流通小売店舗においてテスト導入することとなりました。

このような状況から、サンパール社とタイムリーに開発できる環境を活かし、当社グループの優位性、差別化をより図るため、さらなる日本向け機能追加、システム開発、販売促進連携の仕組みや営業・管理体制を構築するために先行的な費用投下を行うことといたしました。

先行的な費用規模としては、当第3四半期連結累計期間において、日本向けの新機能追加、製品性能向上、システム改良、販売促進連携の仕組み作り、人員の採用やテスト導入へ向けた費用及びオールストアプロモーションの一角であるECサービス開発、開発人件費等に当社グループで約2億円の費用を計上しております。

当社グループのリソースをこのタイミングで投下することについては、資本業務提携先のサンパール社と即時に開発できる環境を活かして、「今」開発を行い先行することが当社グループの優位性を築くものと判断したこと、コンビニエンスストアやスーパーマーケット等がかかえる人手不足問題、フードロス・廃棄ロス問題等については早々に対策をしていくべきニーズがあると判断したことから実施いたしました。

当社グループでは、引き続きクライアントのニーズを聞き、アイデアを持ち、スピード感を持ち企業価値向上に努めてまいり所存でございます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,161,161千円、営業利益は563,084千円、経常利益は580,790千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は385,460千円となりました。

なお、当社グループの事業は統合型販促支援事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ14,371千円増加し、6,156,368千円となりました。これは主にソフトウェアが191,073千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ18,726千円増加し、2,291,491千円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,354千円減少し、3,864,876千円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い385,460千円増加した一方、配当金の支払いにより365,037千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想については、2019年4月26日に公表いたしました予想から変更はありません。

なお、2019年7月31日開示の「新たな事業の開始に関するお知らせ」及び2019年10月31日開示の「浙江勝百信息科技有限公司との資本提携に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループでは、今後、電子棚札ソリューションサービスを展開していく予定であり、試験導入や受注の状況に応じて、開示すべき事項が発生した場合にはすみやかに開示いたします。

また、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,740,944 | 2,467,020 |
| 受取手形 | 9,641 | 6,976 |
| 売掛金 | 1,203,718 | 1,353,034 |
| 仕掛品 | 231,428 | 188,030 |
| 原材料 | 3,191 | 3,849 |
| その他 | 72,535 | 96,984 |
| 流動資産合計 | 4,261,460 | 4,115,897 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 216,040 | 209,262 |
| 構築物（純額） | 23,864 | 22,223 |
| 車両運搬具（純額） | 1,207 | 904 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 58,530 | 56,618 |
| リース資産（純額） | 12,403 | 4,669 |
| 土地 | 245,938 | 245,938 |
| 有形固定資産合計 | 557,984 | 539,616 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 81,476 | 272,550 |
| リース資産 | 1,286 | 503 |
| のれん | 712,201 | 685,155 |
| その他 | 906 | 1,048 |
| 無形固定資産合計 | 795,870 | 959,257 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 377,519 | 390,199 |
| 関係会社株式 | 30,000 | 30,000 |
| 関係会社出資金 | 3,762 | 3,762 |
| 敷金 | 37,859 | 35,739 |
| 繰延税金資産 | 41,986 | 22,089 |
| その他 | 35,552 | 59,806 |
| 投資その他の資産合計 | 526,680 | 541,596 |
| 固定資産合計 | 1,880,536 | 2,040,471 |
| 資産合計 | 6,141,996 | 6,156,368 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 9,250 | 8,733 |
| 電子記録債務 | 705,899 | 733,685 |
| 買掛金 | 642,303 | 760,696 |
| 短期借入金 | 230,000 | 275,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 50,889 | 37,672 |
| リース債務 | 12,265 | 4,645 |
| 未払金 | 109,845 | 83,442 |
| 未払費用 | 58,542 | 48,543 |
| 未払法人税等 | 189,706 | 63,861 |
| その他 | 63,919 | 102,156 |
| 流動負債合計 | 2,072,620 | 2,118,436 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 189,297 | 165,001 |
| リース債務 | 2,520 | — |
| その他 | 8,327 | 8,053 |
| 固定負債合計 | 200,144 | 173,054 |
| 負債合計 | 2,272,765 | 2,291,491 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 513,680 | 513,680 |
| 資本剰余金 | 463,680 | 463,680 |
| 利益剰余金 | 2,873,729 | 2,894,152 |
| 自己株式 | △86 | △86 |
| 株主資本合計 | 3,851,002 | 3,871,425 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10,728 | △14,048 |
| その他の包括利益累計額合計 | 10,728 | △14,048 |
| 新株予約権 | 7,500 | 7,500 |
| 純資産合計 | 3,869,231 | 3,864,876 |
| 負債純資産合計 | 6,141,996 | 6,156,368 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|
| 売上高 | 7,161,161 |
| 売上原価 | 5,576,504 |
| 売上総利益 | 1,584,657 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,021,573 |
| 営業利益 | 563,084 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 127 |
| 受取配当金 | 4,075 |
| 投資事業組合運用益 | 5,995 |
| 為替差益 | 6,110 |
| その他 | 2,018 |
| 営業外収益合計 | 18,328 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 621 |
| 営業外費用合計 | 621 |
| 経常利益 | 580,790 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 1,031 |
| 特別損失合計 | 1,031 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 579,759 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 163,548 |
| 法人税等調整額 | 30,750 |
| 法人税等合計 | 194,298 |
| 四半期純利益 | 385,460 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 385,460 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | △24,777 |
| その他の包括利益合計 | △24,777 |
| 四半期包括利益 | 360,683 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 360,683 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

当社グループは、統合型販促支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。